

令和3年度高校生活に関する意識調査の概要について

1 調査の目的

高等学校入学後の生活状況等を把握し、高等学校の魅力づくりや活性化の参考とする。

2 調査の概要

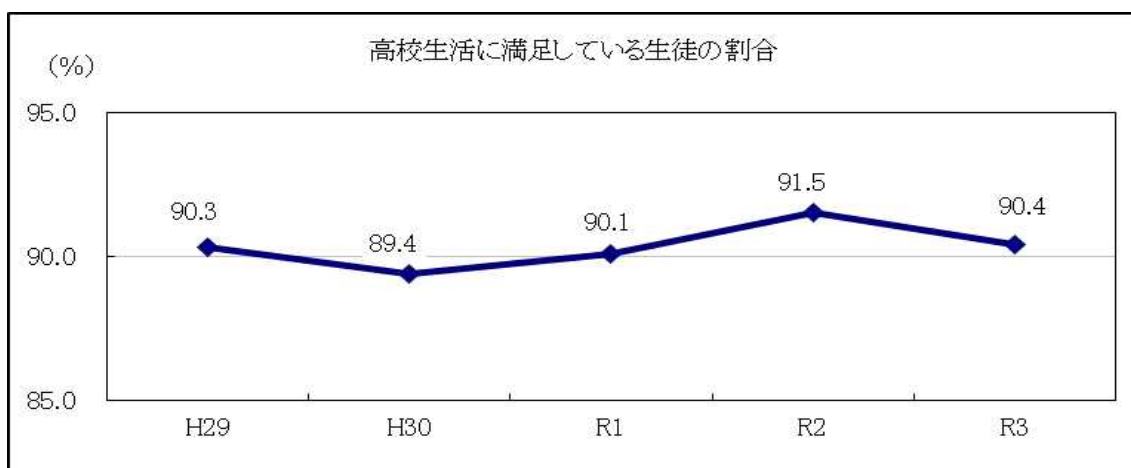
令和3年5月、県立高等学校の25校26科1コースに在籍する生徒を抽出調査し、2,815人から回答を得た。

3 結果の概要

(1) 高校生活に満足している生徒の割合*1

90.4%で、令和2年度から1.1ポイント減少した。

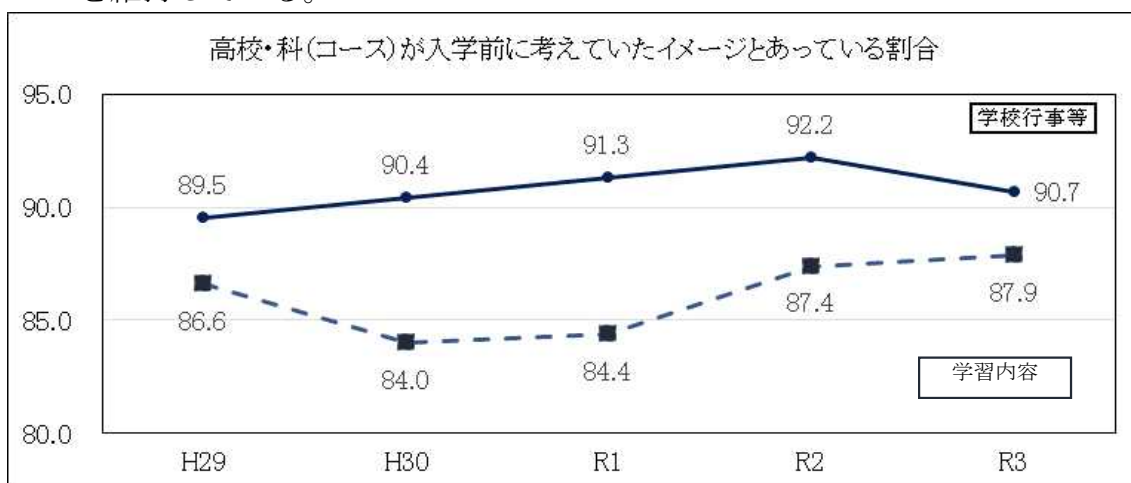
ここ5年の推移は下のグラフのとおりであり、第2・3次岡山県教育振興基本計画に掲げた目標（令和3年度92%）の達成率は98.3%である。



(2) 高校・科（コース）が入学前に考えていたイメージとあっている割合*2

科（コース）の学習内容に関しては87.9%、学校行事、学校の雰囲気等に関しては90.7%の生徒が肯定的な回答をした。

ここ5年の推移は下のグラフのとおりであり、8割以上の概ね高い水準を維持している。



※1 「満足している」と「だいたい満足している」生徒の割合を合算したもの

※2 「考えていたとおり」と「だいたい考えていたとおり」の生徒の割合を合算したもの

(3) その他の学習、特別活動への取組状況

多くの項目において昨年度とほぼ同様もしくは上昇傾向にあるが、「地域行事への参加」が5.0ポイント減少し、「地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある」の項目は6.3%上昇した。

自由記述において、新型コロナウイルス感染症対策の影響で文化祭や修学旅行等が縮小・中止となったことで学校生活への否定的な意見も見られた。